

船舶事故等調査報告書

平成21年3月26日

運輸安全委員会(海事専門部会)議決

事故等番号	2009神第5号	
事故等名	貨物船第一福德丸乗揚	
発生年月日時刻	平成20年8月24日14時00分ごろ	
発生場所	阪神港大阪区第6区(神崎川河口右岸沖付近)	
事故等調査の経過	調査の概要:平成21年1月6日 神戸・地方事故調査官が海難報告書を精査し、船舶所有者兼船長から口述聴取 原因関係者からの意見聴取:意見なし	
事実情報		
船種・船名・総トン数	貨物船 第一福德丸 183トン	
船舶番号	134699	
船舶所有者等	個人所有	
乗組員等に関する情報	船長 六級海技士(航海)	
負傷者	なし	
損傷	右舷船底部外板に凹損	
事故等の経過	本船は、大阪市西淀川区の神崎川左岸にある製鉄所で鋼材350トン进行積み、船首2.4m、船尾3.6mの喫水で、広島県呉港に向かうため同川中央部付近を下航中、上航してくる小型船を避けるため針路を転じて川筋の右に寄せたところ、平成20年8月24日14時00分ごろ、船底部に衝撃を感じた。 その後、造船所に入渠し上架したところ、右舷船底部外板に凹損が生じていた。	
分析	気象・海象の関与 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 判明した事項の解析	なし あり なし 本船は、上航してくる小型船を避航するため、川筋の右に寄せる際の操船を適切に行わなかった可能性があると考えられる。 船長は、神崎川河口右岸沖付近に浅所があることは認識していた可能性があると考えられる。
原因	本事故は、本船が神崎川を下航中、上航してくる小型船を避航する際、操船を適切に行わなかったため、川筋の右の浅所に向かって航行し、同浅所に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。	
その他の事項	なし	